

平成29年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択必修】学習指導要領等に基づき育成すべき資質及び能力を育むための習得、活用及び探求の学習過程を見通した指導法の工夫及び改善

クラスCD	ロ-305	開講日	8月19日(土)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	主体的・対話的で深い学び	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	藤田 達人 (ふじた たつんど)	所 属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	小・中学校教諭	担当時間	3
講習内容	小・中学校の次期学習指導要領改訂の動向に基づいて「アクティブ・ラーニングとは何か」、「なぜ今アクティブ・ラーニングなのか」といった意味や背景などの概要を理解し、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりについて考察する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの時代に求められる育成すべき資質・能力について理解することができる。 ・主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善のポイントについて考察することができる。 		
受講者への事前連絡事項	「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ(案)」平成28年8月19日 教育課程部会 教育課程企画特別部会資料(文科省HP)に軽く目を通しておいてください。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
講習科目名	対話のある授業をつくる	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	藤井 とし子 (ふじい としこ)	所 属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	小・中学校教諭	担当時間	3
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善が求められている。形式的な話し合いや体験活動の導入ではなく、自分らしさを発揮できる学習環境を調べ、問い続けたい事象と出会わせていくことが大切である。そこで、この講習では、学びの場における人間関係づくりや子どもたちが学びたいような授業づくりはどうあるべきかを学ぶ。さらに、小・中学校の授業実践例を用い、具体的な授業改善のポイントについて考察する。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを実質化するための考え方を習得する。 ・学びの質を高めるための授業改善に向けて具体的な視点をもつ。 		
受講者への事前連絡事項	次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ(案)(平成28年8月19日 教育課程部会 教育課程企画特別部会資料)を読んでおいてください。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】教育相談2

クラスCD	ロ-307	開講日	8月19日(土)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	不登校・いじめ・発達障害の教育相談	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	三輪 壽二(みわ しゅうじ)	所 属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6
講習内容	不登校、いじめ、発達障害に関する基本的な考え方およびそれらの対応について講義する。		
到達目標	不登校、いじめ、発達障害に関する基本的な知識を習得し、それらの対応について考えることができる。		
受講者への 事前連絡事項	特になし		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】道徳教育

※この講習を受講する方は【選択】ニ-112、ニ-312、ニ-412を受講することができません。

クラスCD	ロ-111・ロ-311・ロ-411	開講日	5月27日(土)、8月19日(土)、10月21日(土)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	道徳教育の今日的課題と実践	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	生越 達 (おごせ とおる)	所 属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6
講習内容	<p>道徳教育に焦点を当て、その今日的意義や実践の充実を図るための内容・方法等について検討する。今日の児童・生徒の心身の発達や人間形成上の課題を踏まえ、道徳教育のもつ役割を理解するとともに、道徳教育の実践をより充実したものとするための実践上の課題、学校組織全体として道徳教育の実践の充実を図る上で求められる点等について検討する。</p> <p>(1)道徳教育の今日的意義と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における人間形成の在り方と課題 ・道徳教育の今日的意義と課題 <p>(2)道徳教育の実践の充実に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の改訂と道徳教育 ・道徳教育の実践の充実と他の教育活動との関連 ・学校全体での運営・実施体制の充実 		
到達目標	<p>(1)子どもたちの規範意識や学ぶ意欲の低下、さまざまな問題行動の背景にある社会の問題を理解する。</p> <p>(2)現代社会を生きる子どもたちにどのような道徳教育を行っていくことが必要なのかを理解する。</p>		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配布します。一部演習方式の授業を含みます。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】国際理解及び異文化理解教育

クラスCD	ロ-313	開講日	8月19日(土)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	身近なイギリス文化の再発見： 異文化理解教育への援用	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	小林 英美(こばやし ひでみ)	所 属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(英語)	担当時間	3
講習内容	教育現場においてイギリス文学・文化を活用する方法と事例を、映像や画像資料も利用しながら提供する。 1)イントロダクション:イギリス基礎知識の確認 ②茨城県で利用されている中学校・高等学校教科書の中のイギリス 2)生徒の関心をひきだすテーマ:生活文化と文学 ①スポーツ、②食文化、③学校生活、④児童文学		
到達目標	教育現場での活用を念頭において、イギリスの文化について広く理解し、教場で援用できるようにする。		
受講者への 事前連絡事項	教材は当日配布します。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験について	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 (講義のテーマを要約するとともに、そのテーマについての所見を述べる。所要30分。)
講習科目名	アメリカ文化を通して学び教える 異文化と英語教材 ー文化・文学・映像と教科書ー	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	君塚 淳一(きみづか じゅんいち)	所 属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(英語)	担当時間	3
講習内容	異文化理解教育とは何か、アメリカ文化やアメリカ文学そして映像作品から何が学べ、英語教育にどう活かせるのか。文字媒体だけでなく映像や音楽も取り入れて演習します。茨城県内使用英語教科書からも事例も出し活用法も考えていきます。		
到達目標	教育現場での活用を念頭に置き、異文化、アメリカ文化・文学を理解し教育に活かすことができるようにする。		
受講者への 事前連絡事項	資料などは当日配布します。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】教育の情報化2

クラスCD	ロ-315	開講日	8月19日(土)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	教育の情報化Ⅱ	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	小林 祐紀(こばやし ゆうき)	所属	教育学部
主な受講対象者	全教員	担当時間	6
講習内容	教育の情報化に関する現状と今後の展望について、先進的な実践事例、日常的な実践事例をもとに講義する。また、授業で役立つ具体的なICT活用の内容と方法について、実習を交えて検討する。なお、小学校、中学校の事例を中心に講義を進める。		
到達目標	1) 情報化社会における学校教育の変化と課題を情報教育の視点から理解すること。 2) 新しい情報技術を利用した教育(授業)を構想し、指導する力量を培うことができる。		
受講者への事前連絡事項	パソコンによるワープロ、インターネットの使用経験があること。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。